

監督および競技者注意事項

- 1 本駅伝競走大会は2026年度日本陸上競技連盟駅伝競走基準と本大会申し合わせ事項に準じて行う。
 - (1) スタートにおける並び方は、抽選とし、2列で行う。(1列10校)
 - (2) 出発は規則に準ずるが、特に次のように合図をする。
10秒前「オン・ユア・マークス」 この時は必ず静止する。
- 2 第1走者の出発の要領は次の通りする。
※出発について、第1走者への注意
 - (1) 出発の10分前・5分前・3分前・1分前・30秒前・20秒前・10秒前をアナウンスする。(10分前にチーム紹介を行う)
 - (2) スタートは10秒前のアナウンスと同時に「オン・ユア・マークス」と合図する。
 - (3) 競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び、シグナルの合図でスタートする。(不発の場合でもスタートする)
 - (4) フライングがあった場合はスタートのやり直しを行う。(2分後)
- 3 競技者が途中で競技を続行できない状態になったり、医務員等により競技の中止を命ぜられた場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。そのチームは審判長の指示に従い、次区間走者から再び競技を続行することができる。また、無効となった区間以外の各区間の記録は認められる。なお、再スタートの時期は、最終走者と同じとする。
- 4 中継点で先頭通過時刻より15分以上経過した場合、審判長の判断により繰り上げスタートもあり得る。
- 5 中継所のタスキの受け渡し区域は、中継点の前方20mとする。また、400m手前からは「タスキ」を外しても良い。残り500mにテープ(赤テープ)を貼る。
- 6 コースの走り方は、車道を走り、中央車線より左とする。
- 7 アスリートビブスは、胸と背部に確実につける。また「タスキ」は必ず肩から脇の下にかけて走る。
- 8 競技者に対しては、いかなる者(チーム関係者・保護者等)も徒歩であろうと車両(車・オートバイ等)であろうと伴走は認めない。
- 9 競技者のオーダー用紙は、監督会議前に受付にて提出する。
*監督会時の登録選手変更可。選手情報訂正・選手変更届を提出する
ただし、その後の不慮の事故等(ケガや病気等)で変更する場合は、大会当日の午前7時30分から7時50分までに大会総務へ「出走者変更届」用紙を提出すること。(補員から補うこと)
*ローカルルール(地区駅伝のみ適用)
 - ① 1区間のみ区間の変更を認める。登録されていない選手を入れてよい。大会当日に大会本部に提出
 - ② 登録選手でも補えない事態が発生した場合は、大会本部で協議する。
- 10 「審判長は不適当な行為をする競技者を除外させたり、競技続行不可能と判断された競技者を中止させる権限を有する。審判長の権限を技術総務、競走審判員、監察員等に委任しておく必要がある。」(日本陸連駅伝競走基準)を適用し、判断基準については監督会にて申し合わせを行う。
*審判長は、移動観察・立哨員についても10の権限を委任する

※監督及び関係者は、ゴールした選手用の飲み物を準備ご協力お願いします。